

# 信楽園病院だより

第151号 平成25年10月1日 発行

〒950-2087 住所 新潟市西区新通南3丁目3番11号 TEL025-260-8200 FAX025-260-8199

E-mailrenkei@shinrakuen.com ホームページアドレス <http://www.shinrakuen.com>

## 糖尿病透析予防について

糖尿病透析予防診療チーム 看護主任 北村 文子

糖尿病の患者は年々増えています。糖尿病は自覚症状に乏しいため血糖値悪化、糖尿病の合併症を早期に発見、治療するには、定期的な検査が欠かせないことは、皆様ご存じと思います。そして、糖尿病治療の目標は合併症を予防し、健康な人と変わらない日常生活の質を維持し、寿命を確保することにあります。

糖尿病を発症して10年経過すると合併症出現率が高くなってくるといわれていますが、合併症を併発したからと言ってすぐに日常生活に支障をきたすわけではありません。定期的な受診、検査を受けていただき、早期に適切な治療を受けることで変わらない日常生活を送ることができます。

糖尿病合併症の中に糖尿病腎症があります。この合併症が進行し腎機能低下、腎不全となると透析治療が必要となります。現在透析治療導入の原因第1位は、糖尿病腎症となっています。厚生労働省も糖尿病腎症からの透析導入を防ぐため、2012年から糖尿病透析予防管理に対し診療報酬の算定を行っています。当院においても医師、栄養士、看護師で糖尿病透析予防チームを組み糖尿病腎症の進行予防のための治療、指導を行っています。

病期	尿蛋白	腎機能	治療
第1期（腎症前期）	正常	正常～ときに高値	血糖コントロール
第2期（早期腎症期）	微量アルブミン尿	正常～ときに高値	厳格な血糖コントロール 降圧治療
第3期 - A （顕性腎症前期）	持続性蛋白尿	ほぼ正常	厳格な血糖コントロール 降圧治療 蛋白制限食 運動制限
第3期 - B （顕性腎症後期）	持続性蛋白尿	低下	厳格な降圧治療 蛋白制限食 運動制限 血糖コントロール
第4期（腎不全期）	持続性蛋白尿	著明低下 (血清クレアチニン上昇)	厳格な降圧治療 蛋白制限食 運動制限 透析療法導入
第5期（透析療法期）	透析治療		



医師 → 診察、検査、診断、糖尿病及び糖尿病腎症進行予防治療  
栄養士 → 塩分制限、蛋白制限食（必要に応じ）の摂り方の指導など  
看護師 → 血圧測定方法、運動方法、フットケア、生活全般の指導など

看護相談室、栄養相談室で説明を行っています。

腎臓長持ち教室の予約、ご紹介もしています。お気軽にお問合せください。